



# 65年間にわたり 地域に根ざした医療基地として

## 大聖病院「青梅支部」

◎文／本誌編集部 ◎撮影／多賀茂里生（時事通信フォト）

24時間365日体制

「上の女の子2人もこの大聖病院で  
出産しました」。  
新たに3人目の家族を迎え喜びいっ  
ぱいの平井朱美さん。

元氣な女の子を出産した平井朱美さん（左）と宮川昭二理事長。



「ここは先生も助産師さんも親しみ  
やすく何でも話せる雰囲気があるの  
で、安心しておまかせできます。病  
室が個室なのもくつろげていいです  
ね」。

3人目も女の子だった平井さんに、

「女の子の生まれる家はお金に困らな  
いそうだよ」と優しい笑顔で声を掛け  
る同病院の宮川昭二理事長。

大聖病院は1949年に助産師だっ  
た宮川理事長の母、宮川ヤマ氏が福  
生産婦人科医院として創業した。そ  
の後、内科、外科、整形外科も加わり、  
同地で65年間にわたり、地元に着し  
た地域医療に取り組んでいる。

とくに産科においては、妊婦さんの  
身になって施される医療や他にない  
ユニークなサービスが好評だ。たとえ  
ば大きな病院では、夜中や休日の出産  
を避けるために陣痛促進剤を使った  
計画分娩が行われがちだが、大聖病院  
では基本的にすべて自然分娩で対応  
している。

「その方が母体にも負担がかからず  
安産の傾向があるようです」と話す理  
事長の娘で産婦人科医の宮川和子氏。  
現在、院長を務めている。

とはいえお産はいつ始まるかわ  
からない。そのため病院側は24時間  
365日体制で待機していなければ

自然分娩で対応しているの、日によって  
新生児の人数にはばらつきがあるようだ。



ならないのだから大変である。

「でもうちは先代からこの方針で  
やっていますから」と笑顔で応える宮  
川院長だ。

お目当ては

超豪華なフルコースディナー？

さらに妊婦さんたちに好評なのが、  
出産後のお母さんに出される「祝い  
膳」。フランス料理のフルコースが振  
る舞われる。産後であることを考慮  
し、脂肪を抑え栄養バランスよく、授  
乳に影響のないやさしい味付けのメ  
ニユーが工夫されている。この祝い膳  
のためにフランス料理店のシェフを  
採用したというから味は本格的だ。

さらに素材にもこだわりがある。取  
材日のメニューでは、メインの肉は、  
地元青梅のブランドポーク「TOK  
YOX」を使用。「TOKYOX」は、  
赤身と脂肪がほどよく混ざった肉質



「祝い膳」にはこんなメニュー(季節ごとに変更)が!

**オードブル三品盛り**

- ◎ボタンエビ、ラタトゥイユを使ったアメーラトマトのファルシ枝豆ソース
- ◎仏産マグレカナールのスモークとそのフォアグラを使ったパテ トリュフのピネグレットソース アスパラを添えて
- ◎旬の鮓を使った香味野菜のエスカベッシュ

**パン** ◎プレーンとシリアルのパン

**メインディッシュ**

◎青梅ポークのロースト ポルチーニ茸のクリームソース

**デザート** ◎白桃ムースのガレット仕立て

※この他、スープ、サラダ、シャーベットが付く。

で、生産頭数が少ないため「幻の豚」といわれる希少価値の高い肉だ。トマトにしても、糖度が高く、栄養価の高いブランドフルーツトマト「アメーラトマト」を、さらには「フォアグラ」や世界最高峰の鴨ロース「マグレカナール」も惜しまず使われている。この豪華な食事を目当てに同病院を選んだという妊婦さんも少なくないようだ。

「血圧が高く減塩食にしていた方がいて、本来ならフランス料理は諦めていただくことになるのですが、『これが楽しみですこの病院を選んだのです。お願いですから食べさせてください』と泣いて頼まれたことがあります」と宮川院長。結局、「この1食だけなら」と許したそう。きつとその方は出産の喜びとともに病院の楽しい思い出を抱いて退院されたことだろう。

**マタニティヨガ教室は情報交換の場**

さらに妊婦さんを対象にした母親学級「マタニティヨガ」も好評だ。週に1回、無料で開催されている。助産師、栄養士が資格をとって講師として教えているそう。

「呼吸法を覚え妊婦期間を快適に過ごす健康な赤ちゃんを出産していただくことが目的ですが、それだけではなく、妊婦さん同士が知り合え、お互いの情報交換の場になっていることも人気の理由だと思います。それに講師が助産師や栄養士なので、外来では聞きにくいことも聞くことができます」と宮川院長。

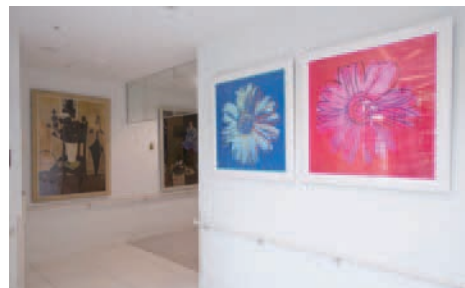
前で見まわっているという。

**居心地のよい病院空間を**

大聖病院は、災害などの緊急時にも地域の救急病院としての役割が果たせるよう、耐震整備の一環として病棟の立て替え工事を進め、昨年3月に新病棟が完成した。



週に1度開催される「マタニティヨガ」。講師は助産師と栄養士が担当している。



院内の共用スペースのいたるところに絵画が飾られ、癒しの空間になっている。

「使いやすく好感を持っていただける合理的な建物になるよう工夫しました。つまり外来部門は白を基調に清潔感を、入院部門は木調家具で温もりを、管理部門はカラフルな色彩で働く職員に活力を、共用部門には絵画を飾り、ダイニング等にはおしゃれなソファを置いて、お見舞いに来られた方も共に楽しんでいただけるよう、おのこの空間づくりに配慮しました」と宮川理事長。56年間理事長を務め、幾度か改築に携わった経験から、宮川理事長



**医療法人社団 大聖病院**

東京都福生市福生871番地  
TEL: 042-551-1311(代表)  
標榜科: 内科、外科、整形外科、産婦人科  
病床数: 116床(内科45床、外科45床、産婦人科26床)  
http://www.taisei-hospital.jp

長が理想とする病院像を形にしたものだ。

「今後も大病院とクリニックの中間規模ならではのメリットを生かし、地域に根ざした医療基地としてその役割を果たしていきたいと思えます」とこやかに語る宮川理事長だ。

地域に根ざしていることは、冒頭の平井さんの笑顔からも十分うかがえる。